

しずくしいし 議会だより

平成19年4月26日発行
発行 / 雫石町議会
〒020-0595 岩手県岩手郡雫石町千刈田5番地1
電話019-692-2111 ファックス019-692-2828
ホームページアドレス<http://www.town.shizukuishi.iwate.jp/>
編集 / 議会広報編集特別委員会

No.61

今号の主な内容

3月定例議会のあらまし.....2~3

予算特別委員会.....4~7

町の考えを問う

一般質問 7 議員が登壇.....8~14

(一般質問の内容は、質問・答弁を質問者自らが要約し、掲載しています)

追跡レポート.....15

委員会活動報告.....16~17

声.....18

ふるさとへの便り27.....19



今号の表紙 / ぼくたち私たちがうれしい一年生

この春、町内10校の小学校に合わせて153人の新一年生が誕生しました。4月6日、上長山小学校では4人のピカピカ一年生を迎えて入学式が行われました。議員たちも各学校の入学式に手分けして出席し、元気な一年生に「入学おめでとう」とお祝いの言葉を贈りました。



3月定例会のあらまし



中屋敷十町長が平成19年度の施政方針を演説した3月定例会

雫石病院を診療所にする条例を制定

3月定例会は、3月2日から16日までの15日間の日程で開催しました。

初日は、中屋敷十町長が施政方針演説で「キラリ輝くしずくいしの実現に向けて、町民ニーズを的確に把握し、限られた財源を計画的、重点的かつ効率的に活用し、総合的な行政運営の推進を目指す」と所信表明があり、続いて、沼尻洋一教育委員長から教育施策方針の演説がありました。

平成18年度一般会計補正予算をはじめとする23件の予算案のほか、雫石病院を診療所にする条例の制定など19件の条例案件が提案されました。さらに、雫石町児童館を指定管理者に移行する議決や会議規則の一部改正の議員発議も行われ、審査の結果、提出されたすべての議案は原案どおり可決しました。

また、一般質問には7人が登壇し大項目で21事項、小項目で30項目にわたって議論が交わされました。

このほか、平成19年度一般会計予算と特別会計10件を審査するために、予算特別委員会(坂下栄一委員長・西田征洋副委員長)を設置し、4日間の集中審議を行いました。定例会で議決した主な議案は次のとおりです(※新年度予算関係は4ページ以降に掲載しています)。

条例

雫石町副町長定数条例の制定

助役を廃止し副町長の定数を1人とするもの

雫石町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正

国の例に準じて休憩時間等を見直し、これまで午前の勤務を正午までとしていたものを午後0時15分までの勤務とするもの

雫石町高齢者等肉用牛貸付基金の設置及び運用管理に関する条例の一部改正

国の制度が終了したものの、本事業を今後とも継続実施していくため必要な部分の条例改正

雫石町民憩の家鶯宿集会所条例の一部改正
鶯宿集会所を町民以外の利用を可能にし、1人1回400円（小学生は200円）で入浴できるように改正

雫石町長寿祝金条例の一部改正
長寿祝金を88歳（1万円）と100歳（10万円）に支給するように改正

雫石町立雫石診療所条例の制定
町立雫石病院の診療所化に伴い設置条例を制定
また、併せて関係する条例の一部を改正

指定管理者

公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めること

雫石町児童館を平成19年4月1日から4年間、特定非営利活動法人わらしやんど雫石（坂下悦雄理事長）を指定管理者として指定するための議決

人事

人権擁護委員候補者の意見

人権擁護委員候補者の推薦について意見を求められ上町三行政区の佐々木知恵さんの再任を決定

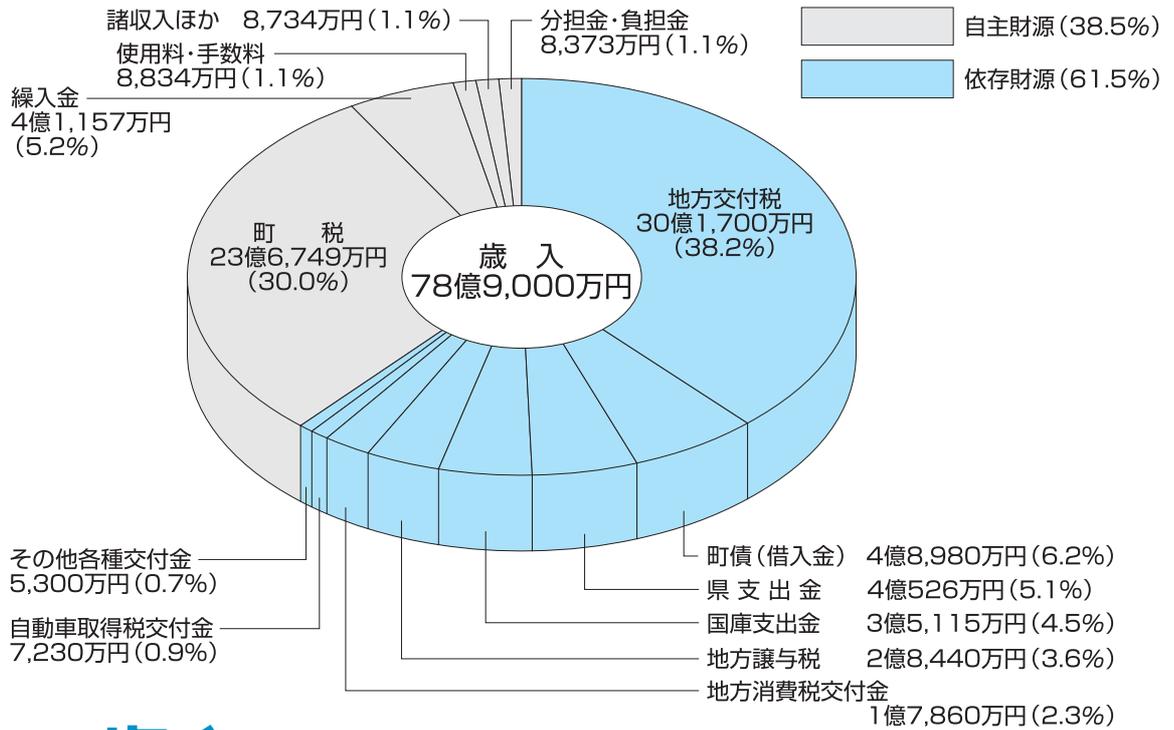
第1回臨時会

平成19年第1回臨時議会が2月22日開催され、一般会計補正予算をはじめ、欠員となっていた教育委員に杉村祐一氏（上町一行政区、61歳）と上田武夫氏（葛根田行政区、60歳）の新任に同意することを決定しました。また、議員発議により、議員が議会や委員会に出席した場合、支給されていた費用弁償を廃止する条例改正案を可決しました。

平成18年度補正予算

会計名	補正後の総額歳入歳出	補正額	主な補正内容		
一般会計	86億7,173万9千円	1億2,802万5千円減	総務費（減）民生費（減）衛生費（増）教育費（減）など		
特別会計	国民健康保険	20億8,552万7千円	7,568万1千円増	療養給付費（増）	
	老人保健	22億5,782万7千円	4,660万6千円増	医療等給付費（増）	
	御明神財産区	483万9千円	31万5千円減	役務費（減）	
	下水道事業	9億259万6千円	2,402万2千円減	工事請負費（減）建設事業負担金（減）	
	農業集落排水事業	1億5,111万8千円	21万1千円減	管理委託料（減）	
	簡易水道事業	2,755万6千円	51万5千円減	基金積立金（増）水源調査委託料（減）	
	介護保険事業勘定	9億3,636万9千円	1,199万9千円減	居宅介護サービス（減）基金積立金（増）	
	介護保険介護サービス事業勘定	589万5千円	849万1千円減	委託料（減）	
	医療施設等整備事業	1,897万4千円	310万円減	委託料（減）	
企業会計	雫石病院事業会計	6億346万5千円	1,264万5千円減	入院、外来患者とも（減）	
	水道事業会計	収益的支出	2億9,132万8千円	153万2千円増	営業外費用（増）
		資本的収入	1,179万4千円	7万1千円減	負担金（減）
資本的支出		1億4,332万1千円	3,274万9千円減	建設改良費（減）開発費（減）	

平成19年度予算 歳入



歳入

歳入全般

問 町税が歳入全般の30%を占め、町民税、固定資産税などが前年対比増となっているが、入湯税の前年割れ要因は何か。

答 これまでは、見込み額を計上していたが、今年度からは、前年度実績をもとに算出している。

問 産業廃棄物等の立ち入り検査にかかる権限委譲委託料というのは、九十九沢の産廃の立ち入り調査も必要と思うが、権限委譲の範囲は。

答 町に権限委譲になる部分は、現地への立ち入りが町でもできるということであり、権限そのものは県に置いたままである。

問 畜産担い手育成総合整備事業費が7千万ほど計上されているが、18年度が6千万円ほど計上し、4千6百万円ほど減額していることからすれば、19年度の歳入計上は現実性のある計画といえるか。

答 18年度の4千6百万円ほどの減額は、畜舎建設が本人の都合によって中止したためである。19年度事業の内容は、草地造成と畜舎整備1棟である。

問 農村総合整備事業にかかる歳入が計上されていないが、営農飲雑用水施設、生活道路など、整備課題が沢山あり、次期対策に取り組むべきではないか。

答 次期対策については検討を進めている段階であり、山村振興事業など現在計画を進めている事業もある。

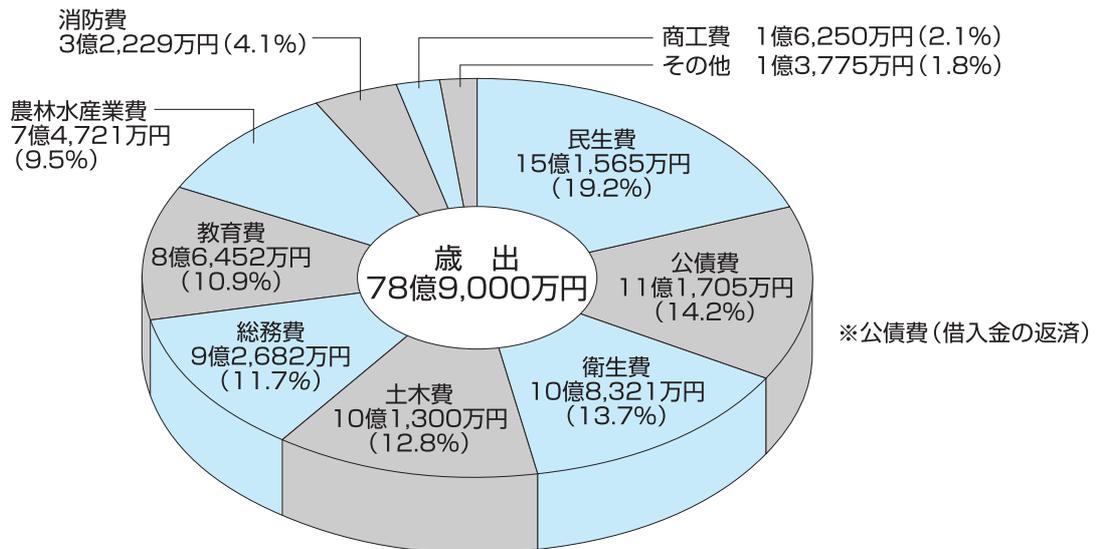
問 町税の収納率向上対策は。

答 現年課税、滞納分を合わせて、90.6%の収納率を見込んでおり、これ以上の収納率向上に鋭意取り組んでいる。



町役場を会場に開催された納税申告相談

平成19年度予算 歳出



歳出

総括

問 行政改革を推進する上で、職員の適正定数と管理職の配置の考え方は。

答 行政改革大綱、基本計画の正規職員については最大8割以下で対応し、住民サービスの維持、福祉の強化を図るとともに、保育所等は指定管理委託を検討していくなど改善を図っていく。

問 本町の農業の再構築という意味から、兼業農家層あるいは小規模農家層を含めた政策展開をどう考えているか。

答 農林業基本計画が本町の農業、農村を取り巻く諸課題に十分応えた計画であり、単年度ごとにアクションプランをつくり、現実の取り組みの中で、農協と連携しながら政策展開したい。

問 栗石病院について、町民は何を望んでいるかを良く把握した医療施設の整備を望む。

答 栗石病院がどうあるべきか、あらためて再検討し、議会と相談しながら対応したい。
今回の医療施設再検討に至った経緯については、トータル的には私の指示、横の連携がとれていなかった部分もあり、反省しているところである。重ねておわび申し上げたい。

総務

問 職員共済組合等町負担金を2億6,300万3千円計上しているが、前年対比大幅増の要因は。

答 退職する職員が16人と人数が増えたことから、これに伴う特別負担金の増額によるものである。

問 業務の委託料の割合が年々増加傾向にあるが、職員の資質向上、人材育成という面からみれば、職員が自ら執行すべき仕事が多くなるのではないかと。

答 専門分野の業務委託が相当部分を占めているが、職員が自ら処理すべき仕事が含まれている部分もある。

福祉

問 少子化対策としての出産祝金の支出の仕方はどうか。また節目総合健診の実態と成果はどうか。

答 出産祝金は従来の国保の出産育児一時金とは別に、第3子以上に5万円を支給するもので、今年は18人を見込んでいる。節目総合健診は男30人、女90人を予定しているが、16年度145人のうち胃がん1人、大腸がん1人発見された。17年度140人のうち、乳がん1人、18年度204人は「発見なし」という状況である。

衛生

問 この4月から一般ゴミが滝沢村に委託することになるが、両町村にとってのメリットと将来の見通しは。

答 滝沢村では処理施設の能力に余裕があるということと、本町では耐用年数も少なくなり新設となれば数十億の投資となることから、財政的にも厳しいので両町村で話し合ってきた。しかし、資源リサイクルのため、ゴミの分別収集は引き続き継続する。



4月から本町のごみ焼却も受け入れている滝沢村清掃センター

農林

問 集落営農を推進する上で、農業指導センターの指導員の業務体制と農家対応は。

答 特産品開発、経営安定対策、集落営農支援など農協職員と町職員および専門指導員2名で指導に当たっている。

機能不足の点もあるが、現地対応を含め改善していきたい。

問 本町の伝統織物は亀甲織とミツエ織に二分しているようだが、伝承工芸としてとどまるのか。特産品、産業振興として進めるのか。

答 亀甲織とミツエ織は織物として一つのものであると考える。技法享受ということで商標登録も個人名で行われたが、会員の合意によるものと認識している。関係者で話し合い、本町の特産品として推進したい。



本町に伝わる伝統織物「亀甲織」を指導する体験講座の様子

問 アグリリサイクルセンター(堆肥センター)などの指定管理委託料は管理料、需要費、その他費用というように分散予算となっている。赤字部分の補助ではないのか。

答 事業の構成上、資源循環としての補助や直接の管理の委託料という分け方をし、予算計上している。赤字部分1,700万円も含まれている。

商工・土木

問 観光協会の予算が昨年より535万円増えているが、観光強化か。

答 観光協会と担当課が連携して対応することとし、観光パンフレットなどの作成を含め、観光協会の強化で増額した。

問 北田圃10号線測量設計は、どのような計画になっているか。

答 町立健康センター(仮称)の入り口の用に供するため、延長的には120m、2車線の6mに拡幅計画をした。

問 銀河ステーションの利用度はどうなっているか。

答 秋田新幹線県内唯一の停車駅で当初は大変にぎわったが、利用者のためになっているか検証し、指定管理者制度の導入に合わせて民間の企画力を生かし、十分検討していきたい。

問 御所湖広域公園の整備事業はどういう進め方をするのか。

答 昨年度、園路整備に一部用地を買収して今年度は長根寄りの橋の手前までの工事と、平成19年度基本計画に着手と県から情報がある。

問 アルペンフラワーロード植栽計画はどうなっているか。

答 プランターが毎年壊れているが補充しておらず、現在あるものでやっていく。平成19年度は継続させていただき、今後は花いっぱい運動の中でどうあるべきか十分検討して対応したい。



17回目となった昨年の植栽活動には約500人の町民が参加

平成19年度各会計当初予算の成立までの推移



予算特別委員会の設置
委員長 坂下栄一
副委員長 西田征洋

11会計
予算委員会
付託

委員会
審査報告

成立
討論・採決
会計予算は
原案のとおり

教育

問 本県の学力は残念ながら全国レベルでは下位である。教育環境を整え、教育の町として教育振興をどう考えているか。
答 基礎基本の定着、指導方法の改善、授業時間の確保の三つを重点に学力向上に努めていく考えである。学校・地域・家庭と連携して努めたい。

問 雫石高校を支援する会を通して地域の教育活動の見直しを含め、どう育成指導していくか。
答 現在、約200人の会員で活動、受験生の自宅を雫石高校のPRをしながら回って歩いた効果もあったと思っている。今後、学校側と懇談を通じ魅力づくりに寄与していただくような活動を考えたい。

問 図書館の職員は、利用者への対応もよく好感が持てる。祝日に利用したい町民が多いので、開館・運営すべきと考えるがどうか。
答 現在は土・日曜日は平常開館し、月曜日を休館日としている。要望等、実態を調べて検討したい。

特別会計

問 病院が診療所化になる場合、19床以外の入院患者の扱いはどうなるか。また一般会計からの繰出が大きいが今後の見通しは。
答 4月には19床しか持てないので、入院患者の転院を進めている。最善の努力をして、一般会計からの持ち出しがないよう努めていく。そのことが経営改善の最大の方策と思っている。



貸し出し本のインターネット予約が可能な町立図書館



質問者/
おおむらしゅうとつ
大村昭東議員

政策評価は健康センター（仮称）建設に効果があったか

町長 / 雫石病院の診療化の経営を再検討する

大村議員 本町の政策評価は、赤字体質のアグリリサイクルセンターや、立ち上げがうやむやとなっている農業公社・産業公社、そして建設が1年延期となった健康センター（仮称）の仕事に結びついて効果があったか。

町長 現在実施している事務事業評価だけでなく、総合計画の大綱に沿って施策評価と併せて、外部評価の実施とその結果を住民に公表する。健康センターは雫石病院の診療化の経営を再検討する。

大村議員 本町の農林業基本計画、同行動計画、観光ビジョン等を実現する実行機関はどうなっているか。また、計画の修正や進行管理をどう行っているか。

町長 庁議や政策方針会議などにより全庁的な体制で取り組む。計画の施策や数値目標の修正は、部門別計画の修正で対応する。

大村議員 農業委員会の建議に対する対応と成果をどのように検証し、19年度以降の施策に反映するのか。

町長 町農林業基本計画、同行動計画を策定し対応している。今後は農業委員会等関係機関団体と協調連携し、住民との協働の力で諸課題に対応する。

大村議員 全国知事会の談合防止策などの指針と不正根絶宣言をどのように対応するか。

町長 国土交通省が示す予定となっている「小さな市町村向けのマニュアル」を参考に、公正な競争が確保できる一般競争入札導入を基本に、地域産業の育成を考慮し参加条件を設定することや、最低制限価格の設定、電子入札の導入などを検討する。

大村議員 高齢者の自殺率が一貫して高い割合を示しているが、自殺防止の取り組みはどうなっているか。

町長 こころの健康づくり対策会議の設置や、「こころのアンケート」を実施し、自宅訪問や電話相談を行っている。19年度には、自殺予防アクションプランを策定する。



自殺予防に取り組む活動を話し合った心の健康づくり対策連絡会議（平成18年6月30日）

一般質問

質問者 /
石亀 貢 議員
いしがめ みつぎ



諮問機関の廃止、再編が必要

町長 / 目的達成したものは見直し

石亀議員 40の審議会や委員会などの諮問機関を今後も存置していく考えか。所期の目的を達したものについては、廃止、再編の見直しが必要ではないか。

町長 本町は、法律または条例に基づき設置される附属機関として、40の審議会等があり、町民の幅広い意見や学識経験者、有識者等の専門的知識を町政に反映し、行政運営の公正・公平の確保と透明性の向上、住民と協働のまちづくりに必要なものとして設置。しかし、社会情勢の変化により必要性が低下したものや所期の設置目的を達成したものなどについては、廃止等の見直しをしていく。

審議会等の委員構成について

石亀議員 委員構成は、各種団体の代表者であり適任者であるが、名称の異なる審議会等では兼任者も多く、町民の町政への関心を高めるためにも幅広く人選し、構成するべきではないか。

町長 委員は、審議会、委員会の目的に沿った有識者や関係団体の推薦、さらには一般公募により委嘱している。中には、専門的な知識を有する委員等で審議・審査する目的、法令等により委員が定められ、公募が困難な審議会もある。5機関以上兼任委員7名は、関係団体の代表や推薦者となっているが、今後とも多くの町民が参画できるよう委員のバランスを考慮し、選考していきたい。

固定資産評価審査委員会の共同設置について

石亀議員 行政に対する町民の信頼性を高めるため、評価審査委員会の共同設置について、近隣の町村長と協議する考えはないか。

町長 平成16年度からは委員会の独立性・中立性の観点から、税務課で行っていた事務について総務課に所管替えを行っており、当面は共同設置に向けた協議や検討を進める必要はないと考えている。



答申を終え解散した「零石病院のあり方等に関する検討委員会」での様子

こ
こ
が
聞
き
た
い
・
一
般
質
問



質問者/
にしだまさひろ
西田征洋議員

県教委の併設型中高一貫教育推進の評価は

教育長／多様なニーズに対応するもの

西田議員 県教委の打ち出した一関一高での併設型中高一貫教育の推進で極端なエリート教育が進み、小学校からの過激な受験競争になる可能性があり、児童生徒に差別と選別が新たに生じる面も出てくると思うが、教育長はどう評価するか。

教育長 中高一貫教育は文部科学省が教育改革の一環として設置を求めてきた経緯があり、高校受験を意識せずに6年間ゆとりを持って学習できる点、選択肢を増やす、個性尊重という観点から実施されているものと理解している。

教職員に対する裁量賃金制度導入の評価

西田議員 この問題を県教委が発表して以来、県内の教育関係者をはじめ猛烈な反対の声が沸き起こり、その声に押され制度導入の延期を決めた。この制度についてどう評価するか。

教育長 教職員への新昇給制度の導入は、国が必要性を示し、その勧告を県が受けて本年度から制度を導入したもののだが、これにより教職員の職務遂行の改善意欲が高まることを期待する。

学校給食の地元産品の利用向上の手だては

西田議員 この利用向上が足踏み状態になっていたのは、町の産業公社構想待ちになっていたのでは。

教育長 地元の農家からの安定供給が得られず、納入ストップとなった学校もあった。工夫して納入活動を継続させたい。

木材加工工場の計画変更問題

西田議員 工場規模変更が具体化されないうちに木材伐採だけを先行し丸裸になったが、また稀少種が確認されたが。

町長 LVL（木材加工）工場を環境保全の観点から集材工場へと変更するということだが、すでに町と事業者で立地協定を締結しており、それに基づいて伐採したもの。絶滅危惧種については、専門家も含めて関係者が現地調査をしてその対処方針について検討することにしたい。



地元食材を使った学校給食を食べる七ツ森小の児童たち

一般質問

質問者 /
 うわのみよじ
 上野三四二 議員



安庭小の通学路環境は危険、安全対策を急げ

町長 / 私が、直接県に改善策を求める

上野議員 教育環境について聞きたい。安庭小学校の危険校舎の建設に関連し、乗り物広場附近、御所大橋附近は特に通学路環境は良くない。県道歩道、横断路、スクールゾーン標識の設置は急務であるが改善見通しは。

全国的に児童生徒が朝食を食べないなど食生活の乱れがあると聞く、本町の特色ある食育指導をどう進めるか。

町長 安全確保のため、継続して県に要請しているが、私が県に出向き、安全な通学路の早期確保のため直接改善策をお願いする。

教育長 学校の授業や集会で、先生と栄養士において、栄養や食に関する知識の普及、家庭での食事を通じた健康づくり、農産物の生産者との交流や体験による食の学習など積極的な指導をおこなっている。

町長の考えと職員は同じ目線か

上野議員 中屋敷町政1期目、10の約束の点検評価をどのように総括したか、また2期目の政策宣言20の実行にどう取り組むか具体的に示されたい。業務体制はグループ制を取っているが、職員が町長の考えを自覚し、町民サービスに十分対応していると言えるか、課題や改善策をどうとらえているか。

町長 は数値目標を示したマニフェストではないので公表しないが、公約の10の重点施策は指定管理者制度をはじめ、住民参加型行政を推進できた。2期目は、1期目からの継

続施策も多いが後期基本計画の着実な推進に取り組み、計画の進捗管理とあわせて政策宣言の点検評価をしていく。

能動的な課内体制による効率的な業務推進をしていると評価している。今後も住民目線の意識醸成を図り、意識改革と組織風土の改革により住民サービスの向上に努める。

零石型農業の再構築は

上野議員 品目横断的経営安定対策の取り組み状況、零石型農業の再構築のため兼業農家を含む集落営農など指導支援をどう進めるか。

町長 農協と連携した町集落営農支援センターを中心に支援チームを構成し支援活動を展開している。小規模兼業農家は担い手農家に網羅できるよう推進していく。最終的には漏れる農家も出てくるかも知れないが集落営農や認定農業者に何らかの形で参加できるよう指導していく。



先生から交通安全指導を受けながら下校する安庭小の新入生

こ
こ
が
聞
き
た
い
・
一
般
質
問



質問者/
伊藤哲夫議員

保育料軽減の考えは

町長／第三子以上は、相当程度軽減している

伊藤議員 少子化対策、子育て支援の一環として保育料を軽減する考えはないか。

町長 本町の経済的な子育て支援策として第3子以上の出産に対する出産祝い金支給や、保育所に第3子以上の幼児が入所した場合、その幼児の保育料を25%軽減している。国が設定した保育料と比較した軽減率は、平成15年度は41.68%、平成16年度は41.71%であり、近隣市町村と比較しても低い。今後も、「雫石町子育てプラン」に基づいて、延長保育、休日保育など町民のニーズに応じた保育サービスを実施。さらに、子育て中の親子の交流の場や放課後児童クラブの増設などを図っていきたい。

教育問題について

伊藤議員 いじめ対策がいろいろ話題になっているが、町内の小中学校においていじめ問題などの発生はないか。もし、あるとしたらどのような対処をしているか。

教育長 教育委員会として、昨年の11月2日文部科学省、岩手県教育委員会と連携のもと、保護者、児童生徒に対して、アンケートを平成18年度において、冷やかし、からかい、持ち物かくし、仲間はずれ、無視、暴力などのいじめを受けたことがあるか、という内容で実施。本人がいじめと感じれば、いじめと数える調査で、結果は小学生21件、中学生50件のいじめが報告された。各学校では、この調査をもとに、いじめは人間として絶対に許されないと立場で、児童生徒に個別面談等を実施。幸い本町では重大な問題に発展するようないじめはなく、報告されたいじめは学校の指導により全て解決された。今後とも、どの学校でもどの子にも起こりうる問題ととらえ、早期発見、早期指導に努めたい。



屋外で元気に遊ぶ七ツ森保育園の園児たち



質問者 /
猿子恵久 議員



高齢者認知症対策は

町長 / 在宅で生活が送れる地域づくりを

猿子議員 近年高齢者の認知症が全国的に増加している。本町の実情と現在の対策を示されたい。

町長 高齢者認知症は303人、軽度の認知症と判断される方は190人、中程度の方は58人、重度の方が38人、最重度の方が17人となっている。包括支援センターを窓口、地域の人達が認知症を理解し、支え合う地域づくりを目指し、認知症サポーター養成講座や若年層の理解を深めるために、中学生対象の認知症教育講演会を実地し、高齢者が認知症となっても在宅で生活が送れる地域づくりを進めていく。

農業振興について

猿子議員 品目横断的経営安定対策がスタートするが、地域農業を担う個別経営や法人経営の育成確保がされる一方、小規模農家が増加してくると思われる。町として独自の農業政策を検討する考えはないか。

町長 小規模農家が共同で営農することにより、経費や労働力を削減することができ、特に労働時間の減少は、他の作物栽培や加工・販売等にその労働時間を振り向けられ、所得の向上も見込まれることから、より幅広い安定的な営農体制が実現可能となるものであり、このようなことから、必ずしも離農の増加につながるものではないと考えている。

農業と観光連携の取り組みについて

猿子議員 雫石観光ビジョンでは、産業間の連携を進めようとしている。現在までの農産物マーケティング活動は、どのような状況となっているか示されたい。

町長 J A 新いわておよび各生産部会、雫石中央支部等関係団体の方々とともに関係市場、関係業者、量販店等を直接訪問するなど、生産者と消費者とがお互いに顔が見え、話が出来ると信頼関係構築に努め、消費動向等を検証しながら、トップセールスに努めてきており、今後も機会あるごとに、継続していき、農業と観光一体のまちづくりの中にもあり、雫石のおいしい農産物を多くの人たちに食していただけるよう、地産地消の推進に向け、J A 新いわてをはじめ、関係機関、各団体とともに、鋭意取り組んでいく。



町長、議長も生産者と一緒にPRした米消費地視察研修（横浜市）

こ
こ
が
間
き
た
い
一
股
質
問



質問者/
さかしただえいいち
坂下栄一 議員

新型交付税は人口増がポイント

町長 / 19、000人は維持したい

坂下議員 2007年度から新型交付税が導入されるが、これによる普通交付税の収入見込みはどのように予測されるか。

町長 基本的な算定方法は人口と面積の算入割合が10対1となり、今年1月に総務省が示した方法で計算すると1,275万3,000円の減額になる。今後、人口の算入割合が高い新型交付税に占める割合が拡大するとさらなる減額もあり得る。

坂下議員 来年度一般会計予算案では収入の38%を占めるこの交付税は、人口の増加がポイントのようだが、基本的な考えは。

町長 努力目標で1万9,000は維持したい。

坂下議員 昨年の9月議会において生活交通確保対策推進事業に関し5項目の決議を採択しているが、この取り組みはどのようになっているか。

町長 町内全域を網羅する「あねっこバス」路線の構築については、今年度から天川、黒沢、まがき行政区を運行区域に編入したことにより、県交通と患者輸送の運行区域とあわせて町内の全ての行政区で公共交通の空白地域は解消された。

坂下議員 新医療施設は、「つどいの広場」「健康推進室」は造ると思うが、診療部門はなくなる可能性もあるのか。

町長 基本的に、無くすることは考えていない。有床にするか無床でいいのかによって機能が変わってくるので、これら全てを見極めて判断したい。

坂下議員 中心市街地活性化事業は、民間主体によるまちづくり会社を立ち上げて、企画運営することが提案され、中心市街地活性化推進事業の運営主体となり得るまちづくり会社を立ち上げる事業を支援していく、としているが、まちづくり会社が予定する活動内容および資本構成、役員体制はどのようになるのか。

町長 活動内容は、休憩、案内、交流、関係機能を持つ町の駅の設置と集客交流イベントの企画実施など。資本構成と役員体制については平成19年度中に零石商工会内に会社設立準備会を設けて検討する。

一般質問

あの質問は…その後どうなった



前号に続いて追跡リポートをご紹介します。今回も、町議会で行われた一般質問の中から 2 項目を選び、その提言が町政にどう反映されているのかを調査しました。

質 問

星の駅団地（雫石駅南）の販売状況は
（平成16年12月議会）

処理状況



その後

県の住宅公社の委託を受けて行っている事業ですが平成19年3月現在、85区画中33区画を販売。



質 問

現在、国民健康保険証は1世帯に1冊で不便。これを個人毎にカード化すると利便性が良くなるが（平成18年9月議会）

処理状況

その後

平成19年10月から実施予定。

調査実施日 /
平成19年 2月 6日、3月 5日
調査項目 /
所管事務調査、請願審査

総務

総務常任委員会(坂下栄一委員長)は、2月6日紫波町PFI事業の管理型浄化槽整備事業の取り組みについて、先進自治体の実践実例を調査、研修しました。

本事業は民間のノウハウを活用することにより、浄化槽の建設業務、または寄付を受けた浄化槽の維持管理業務の実態などを、町財政の負担を軽減しながら効率的に実施するもので、平成18年度から事業期間10年、整備区域内対象1000基の浄化槽建設の事業内容などについて説明を受けました。

今後の行政運営、議会活動に生かしていきたいと思えます。

PFI事業の解説

公共サービスの提供に際して公共施設が必要な場合に、従来のように公共が直接施設を整備せずに、民間資金を利用して民間に施設整備と公共サービスの提供をゆだねる手法です。公共と民間が適切に役割、リスク分担することにより、公共サービスの質の向上や財政負担の軽減につながります。



紫波町のPFI事業を視察した総務常任委員会

3月5日は請願第1号「公共サービスの安易な民間開放に反対し、国民生活の安心・安全の確立を求める請願」、請願者岩手県労働組合連合会議長鈴木露通他3名の審査を行い、公共サービスの民間開放などに関する行政改革推進法など行革関連5法案は既に国会で成立していることから、「不採択」とすべきものと決定しました。

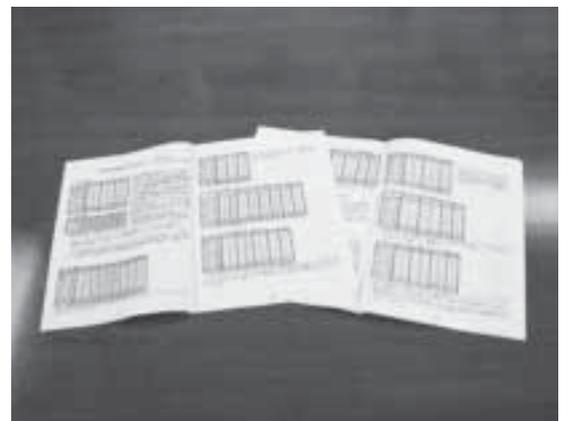
調査実施日 /
平成19年 3月 5日
調査項目 /
所管事務調査、陳情審査

教育民生

教育民生常任委員会(坊屋舗俊一委員長)は、3月5日に所管事務調査と陳情審査(2件)を行いました。

所管事務調査は、病院の診療所化に伴う計画変更の見直しについて、担当課より診療所化して1年間の推移の中において見直し検討していくという説明を受けました。

小学校適正配置検討のための町民アンケート結果の説明を担当課から受け、回答率45.7パーセントでこのアンケートを基に小学校適正配置を検討していくことの説明が



小学校適正配置検討のためのアンケート結果をまとめた調査結果分析表

ありました。また、いじめに関する調査では、小学校21件、中学校50件ありましたが、改善され、現在は、問題がないと報告がありました。

陳情第1号 「リハビリテーション日数制限についての陳情」

陳情第2号 「療養病床の廃止、削減計画についての陳情」

上記の付託された2件は審査した結果、国では公平で合理的な制度構築に向け、今後実態調査や結果を踏まえ、制度の見直しを検討・改善を行い、持続的な制度に改めていく方向性のことから「不採択」とすべきものと決定しました。

調査実施日 /
平成19年 2月23日、3月5日
調査項目 /
現地調査、所管事務調査

産業建設

産業建設常任委員会（横欠君夫委員長）は2月23日岩手県営屋内プール熱源供給システムについてと、雫石スキー場の韓国スキー客入り込み状況について現地調査をしました。



チップボイラー施設を視察する委員たち

岩手県営屋内プールでは、現在の熱源供給システムは、熱水利用による温水需要施設としての実施調査が終了したことから、新エネルギー利用施設として、今回新たに熱源として、いわて型チップボイラー200KW 2台、100KW 1台で地下水利用型ヒートポンプ200KW 1台を設置した内容説明がありました。



雫石スキー場支配人から韓国スキー客の状況を聞き取り調査する委員

雫石スキー場の韓国スキー客入り込み状況は、スキー、スノーボード客は年間2000人位でゴルフツアー客は、年間3000人ほどであり、来客は、秋田・青森空港の利用客が主であるとのことでありました。

今後の課題は、町の外国人観光客対応のイメージアップと安心効果のためには、韓国語などの案内標示の工夫が必要である。また、花巻空港と韓国路線の開発が必要ではないかなどの意見が出されました。

所管事務調査では、(株)しずくいしの町内ホテル等への農産物供給状況について説明を受け、現在で約860万円の売り上げがあるとのこと。アグリリサイクルセンターの販売状況は、17年度で817トン、18年度で2,480トンの販売であるとの説明がなされました。その他に、木材加工誘致工場の進捗状況と品目横断経営安定対策の特例措置について、調査しました。



さいた
齊田あゆみさん
(20歳・八区行政区)

若者と 議会だより

正直、私は今まで町議会だよりを読んだことがありませんでした。今回、この「声」のコーナーに載せていただくことになり、初めて町議会だよりを拝見いたしました。

町議会ではどのような議題がどこで、誰によって、どのように話し合われているのか。そのようなことすら知らなかった私が、議会だよりを読んで思ったのは、自分が住んでいるこの雫石町という町を知るのには、私たちのような若い世代にとっても大切な義務なのだと思います。確かに、難しい言葉ばかりで困ってしまう部分もありますが、同年代の方にもぜひ読んでいただき、自分たちの町づくりに少しでも興味を持ってほしいなと感じました。



えんどうまさみち
遠藤正道さん
(63歳・谷地行政区)

編集企画を 新たに

まず本誌について - 話題になっている場所がどこか、行政区や道路の位置を示す略図を入れてはどうでしょう。追跡リポートはうれしい企画です(できればもう少し詳しく)。

議会で質問されない議員のレポートを年に1回は掲載してほしいです。

議員のアンケート企画も掲載してください。賛成か反対か。このことで地域代表であれば意見集約も必要で、住民の政治への関心も高まり、町民アンケートより効率的です。

議員がどんな考えを持ち、どう行動したのか、町民全部が知ることが大切で、選挙に反映されると思います。議会報ですから、行政当局とは別な視点で編集ポリシーを持っているのではないのでしょうか。

選挙直前の原稿依頼。仕事上短期間に多くの候補者とお会いしました。以前に比べて、政見を明らかにする姿勢が見られ、うれしく感じました。地域の声を行政に届けるだけでなく、政治に携わる方はクリエイターであってほしい!積極的な提言で審判を仰ぐようお願いいたします。そして次回の選挙は、政策本位で投票する有権者がもっと増えてくれればうれしいです。



いっほんぎ たかひさ
一本木孝久さん
(35歳・天瀬行政区)

町のみんな で出来る事を

私は雫石の町が大好きです。最近報道等ではどこの行政もさまざまな問題が報じられており、大変な時代であると感じます。しかしこういう時代だからこそ行政と地域の農業・商業・観光をはじめ、この町に携わる全ての人が力を出し合えば、必ずみんなが「ニコッ!」と笑える素晴らしい町になるはずですよ。未来ある子ども達が安心して暮らせる町にするには、その親の世代や誰もが住みたくなくなるような町づくりが一番必要であると考えます。そのためには一人ではできなくても、みんなが力を合わせればできることを絶えずリードし続ける町政であってほしいと願います。私の大好きな雫石町が、全国に誇れるようなすてきな町になっていくことを期待し心から応援しています。



なかじまゆき お
在京雫石町友会幹事 **中島幸男**さん

定年退職を以て思うこと

「体に気をつけて頑張れよ」と母親や先生方に励まされ雫石駅から見送られ、集団就職の夜行列車に乗り込んで上京したことが懐かしく思い出されます。旧西山と御明神の仲間4人で千葉県にある従業員300人規模の製パン会社に就職しました。当時は、菓子パン1個10円、食パン1斤40円の時代です。また、パンを入れる容器は木箱で、半数の菓子パンは包装もせず出荷したものです。今とは隔世の感があります。思えば、無邪気な私たちをかわいがり、指導してくれた当時の先輩たちに感謝あるのみです。その会社を昭和40年に退職し山崎製パン(株)に入社となりました。あくまで途中入社ということもあり、「ほかの人には負けないぞ」、「一生懸命頑張るぞ」という気持ちで入社したことを記憶しています。以来、定年まで40年間勤務しました。

最初の職場は、商品検査とお得意様ごとに仕分け出荷する担当でした。昼夜2交代勤務、当時27歳で50人の部下を抱える係長でした。次ぎに営業部門に配属となり、コンビニの出店開発を担当しました。いろんな業種の経営者にお会いし、商談し、出店契約をする仕事です。話下手な私にとって誠実だけが取りえとばかり取り組みました。その結果、1年間に10店の店舗を開店することができ、全国

トップの成績を頂いた時は、マラソン大会で優勝したようなうれしさだったと記憶しています。このDNAは郷里雫石の清楚な環境で育ち、不屈の「じょっぱり」精神を養ったお陰だと思っております。

そして、本社の直営店舗指導管理業務に移ってからは、全国各地に出張することが多くなりました。盛岡出張の時は、実家に泊まり兄さんや姉さんに温かく迎えて頂き、親友と深夜まで飲み交わすこともありました。そんな翌日に飲む雫石の水と味噌汁は何よりのごちそうでした。東京では絶対に味わえないものばかりです。

昨春、無事定年を迎えました。送別会も終わり自宅ではっきりしているところに、本社の本部長から「継続勤務せよ」との電話があり、現在は囑託で勤務する毎日です。現役時よりは私的時間が多くなり、散歩や読書を楽しんでいます。時には、無性に岩手の食べ物が食べたくなり、ホヤやゴマせんべい、小岩井の乳製品をデパートなどの物産展で買い求めた時は、至福の時を感じるものです。

故里を離れて多くの時間が過ぎました。これからも雫石が自然環境を守りつつ、農業や観光をはじめ、あらゆる分野でますます発展されますよう心より祈念しております。



町友会の集いでのスナップから(テーブル左から2人目が筆者)

中島幸男さんプロフィール

昭和20年生まれ、御明神中島行政区出身。製パン大手の山崎製パン(株)を経て(株)デイリーヤマザキMGに異動となる。全国各地のコンビニエンスストアの新規出店を手掛け、昨年定年退職を迎える。現在は同社の囑託社員として後輩の指導に当たっている。神奈川県相模原市在住。

子どもたちから町議会はどんな仕事をしたり、どんな仕組みになっているのか質問が寄せられることがあります。そこで議会の仕組みについて子どもたちに分かるようにシリーズで解説しています。ご家族で一緒にご覧ください。

議員の定数や任期はあるの？

町議会の議員定数は、町の条例で20人と定めています。

また、町議会議員の任期は4年と定められています。ただし、補欠選挙で選出された場合は、前任者の残任期間が任期となります。

現議員の任期は平成15年5月9日から平成19年5月8日までとなっています。

議会的话题を紹介します

議会だよりをインターネットでも

インターネットからでも議会だよりを閲覧できるようになりました。アドレスは

<http://www.town.shizukuishi.iwate.jp/>です。役場ホーム

ページの「議会事務局」「議会広報誌」から見ることができます。



家庭でもお気軽に議会情報をご覧ください

議会事務局職員の異動を発令

平成19年度の町職員定期人事異動が行われ、議会事務局職員の異動がありました。5年間勤務した新里千秋局長が農林課長に転出し、新たに教育委員会から小原千里社会教育課長が就任。また、町議会では、効率的な議会運営に当たるため、事務局職員以外に町長部局職員7名に対して併任書記を発令しておりますが、今回、高橋啓二主査が退任し米澤稔彦主査を新たに任命しました。



小原千里議会事務局長

議会の主な動き 1～4月

- 1月 14日 2007ニューイヤー女性フェスタ
- 21日 裸参り感謝祭
- 24日 岩手郡議長会議長等会議
- 2月 3日 全国どぶろく研究大会
- 6日 総務常任委員会先進地調査(紫波町)
- 9日 JA新しいわて「日豪EPA交渉に関する決起大会」
- 11日 第4回町民劇場
- 13～14日 米穀消費地視察研修(横浜市)
- 16日 県議長会第58回定期総会、政務調査会
- 18日 第20回町民音楽祭
- 20日 議会運営委員会
- 21日 2007しずくいし農林業躍進の集い
- 22日 第1回議会臨時会、町防犯交通安全推進大会
- 23日 盛岡地区広域行政事務組合議会、産業建設常任委員会
- 3月 1日 盛岡地区衛生処理組合議会定例会
- 2日 第2回議会定例会開会
- 4日 第3回雫石町男女共同参画フォーラム
- 5日 常任委員会、議会運営委員会
- 6～7日 本会議
- 8～9日 本会議(一般質問)
- 12～15日 予算特別委員会
- 14日 雫石中学校卒業式
- 16日 本会議(議会定例会最終日) 政務調査会
- 4月 2日 議会辞令交付式
- 6日 雫石中学校入学式
- 13日 政務調査会

情報公開

議長交際費執行状況

【議長交際費とは...】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳(1月～3月)】

月	葬祭費	お祝い、会費
1	1件 2万円	5件 2万4千円
2	0件 -	5件 2万1千円
3	0件 -	6件 2万6千円
総計 (1月～3月)	2万円	7万1千円

編集デスク

“空飛ぶ豆腐”豆腐が空を飛ぶなんて不思議な話ですが、北部沿岸のある村の豆腐が、首都圏や台湾へ空輸されているというテレビ報道でした。しずくいしだって負けてなるものか、新しく開発されたセラミック式加工技術で、しずくいしの農家を元気づけたいものです。この広報61号が皆さんのお手元にとどく頃、新しい議員諸氏が誕生する。目立たないところで、ひっそり暮らしている人たちの声なき声を大事にする議員になりたい。そう思うこの頃です。

(編集委員 大村昭東)